

競争入札設計図書等に関する回答書

令和 8 年 8 月 2 1 日
福島県消防学校長

工事（委託業務）番号	第 26-05120-0003 号
工事（委託業務）名	消防学校（管理教育棟・宿泊棟）屋上防水改修工事
質 問 事 項	
1. 改修工法について：M4S 工法（改修共通仕様書による） 既存防水工法、M；露出アスファルト防水工法 既存下地の処理、4；露出防水層非撤去（立上り部等は撤去） 改修後の屋根、S；合成高分子ルーフィングシート防水工法（機械） 新設防水層の種類 （平場）塩化ビニル樹脂系（機械）、S-M2，t=1.5 ミリ （立上）塩化ビニル樹脂系（接着）、S-F2，t=1.5 ミリ 以上と考えてよろしいでしょうか、 2. 設計図・設計書 立上の露出防止アスファルト防水も残置のまま、既存防水の上、塩ビシート（接着工法）S-F2 とあります。 上記設計書の通り施工するには、ふくれ・浮き切開、あぶり戻し並びに水性エポキシ樹脂モルタル(t=2.0 程度) しごき塗りの下地処理が必要です。 下地処理込みで、計上してもよろしいでしょうか。 管理・教育棟：188.8m²、宿泊棟：1831.5m² 3. 既存アルミ笠木脱着再利用について出入隅コーナーにおいて、笠木が入らない場合は立上アスファルトを撤去してもよいでしょうか。 4. 平場 塩化ビニル樹脂系シート防水 S-M2 機械固定工法において （1）絶縁シート敷設 t=1.0@600／m² （2）入隅周囲固定金物(塩ビ樹脂被覆高耐食鋼板 W=50)を計上してもよいでしょうか。 （1）管理・教育棟：684.04m²、宿泊棟：1831.5m² （2）管理・教育棟：261.0m、宿泊棟：900m 5. 宿泊棟において、 既存防水押え金物撤去及び新設が、設計書により漏れています。 計上してもよいでしょうか。(489.0m)	
回 答 事 項	
1. 立上り部の施工方法は、既存防水層を残地したうえで塩ビシート（接着工法）としておりますが、劣化状況等の調査・確認後、最終的に判断します。 2. 立上り部の下地処理の必要が生じたときは、福島県工事請負契約約款第 18 条（条件変更等）に基づき協議の対象とします。 3. よろしいです。 4. 絶縁シート敷設は設計に含みます。 入隅周囲固定金物は、福島県工事請負契約約款第 18 条（条件変更等）に基づき協議の対象とします。 5. 既存防水押え金物は撤去せず、シーリング改修のみとしています。	